

愛媛県相談支援従事者人材育成ビジョン



《理念》

愛媛県のそれぞれの地域において、障がいのある方々が『安心して暮らせる地域づくり』を担う人材を育てる。

《手段》

①人材育成における研修の充実

- ・各地域で中核となる人材の育成
- ・地域におけるOJT体制の構築

②各種研修講師の連携による研修の質の向上

- ・各種研修の講師における情報共有の場の確保

③支援者支援の中核となる基幹相談支援センター間の連携

- ・各基幹相談支援センターの困りごと等の情報共有の場の確保



愛媛県障がい者プラン

【基本理念】

本計画は、統合前の3計画の基本理念を継承し、全ての県民が、障がいのある人もない人も、互いに人格と個性を尊重し合いながら、地域で共に暮らし、共に支え合い、そして安心して暮らすことができる「共生社会」の実現を目指す。

【基本方針】

次の4つの基本方針を掲げ、「共生社会」の実現に向けた取組みを進める。

- (1) 障がいへの理解促進と権利擁護
- (2) 障がい者自身の決定と選択による地域生活の支援
- (3) 暮らしやすい生活環境の整備
- (4) 教育・就労・社会参加の促進



県の相談支援体制における主な課題

①インフォーマルを含めた地域資源及び環境に差がある。

※協議会の活動状況や人材育成のための環境整備を含む。

②地域によって、相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターや、障がい者等が地域において安心して自立した日常生活又は社会生活を営むための支援を効果的に行うために設置される地域生活支援拠点の整備状況に差がある。

③相談支援の中核的な役割を担う者が相談できる場が不足している。

④各種研修の企画運営や講師、ファシリテーターを担う者が固定化されており、継続的に循環させる仕組みが確立されていない。



相談支援専門員のキャリア像



	研修受講前	初任	現任	主任	主任 (一定期間経過後)
獲得目標	—	・基本相談支援を基盤とした計画相談支援を実施できる知識と技術の修得	・個別相談支援のスキルの向上 ・地域援助スキルの修得	・地域づくり、人材育成、困難事例への対応など地域の中核的な役割を担うための知識と技術の修得	—
期待される取組み	・相談支援専門員との関わりのなかで、相談支援の価値を感じる。 ・実務経験のなかで、サービス利用者の困り事等を感じる。	・相談支援の理論と実務を理解し、一連の業務を実践する。 ・支援のためのネットワークを形成する。	・個別課題から地域課題を発見する。 ・コミュニティワークを実践する。	・関係機関との連携や協働により、地域づくりを実践する。 ・人材育成に係る研修の企画・運営に参加する。	・自立支援協議会の運営等に参画し、利用しやすい社会資源の開発等を行う。 ・地域の相談支援専門員を育てる基盤を整備する。

愛媛県における相談支援専門員の人材育成体系



地域の中核
となる人材

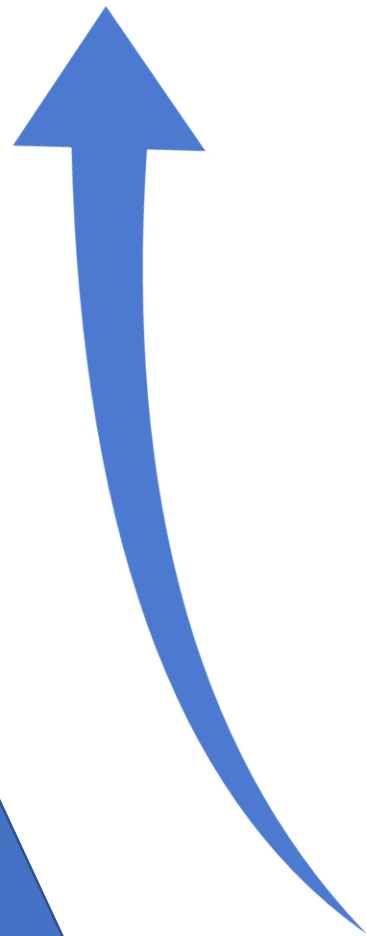
主任研修

地域力の向上に
取り組む人材

現任研修

個別支援
ができる人材

初任者研修



専門コース別研修（

障害児支援・意思決定支援・
就労支援」等8コース）

フォローアップ研修

（県の相談支援体制において、専門コース
別研修にない科目で必要とされるもの）

【基幹相談支援セン
ター・市町（自立支
援協議会）】

- ✓法定研修における
インターバル実習
の受入体制の整備
- ✓事例検討会等の
開催 等

【事業所・本人】

- ✓スキルアップ（研修の
受講・講師派遣等）の
機会の付与
- ✓事例検討会等への
参加 等

任意研修
（県）

法定研修（県）

その他